

広告

一般に外壁塗装ほど手抜きをしやすい工事はないと言われている。手抜きをしたかどうか、数ヶ月から数年経たないと分からないからだ。しかし実は、公共工事等で用いられている、簡単で確実な手抜き工事防止法がある。これまで一般の消費者がほとんど知ることのなかったその方法を、ここで一般公開する。

外壁塗装で失敗しないための自己防衛知識 ～塗装業者を見極める「たった一つの質問」とは?～

リフォームお役立ち情報



公共工事に学ぶ、手抜き工事防止法

毎の写真をお客様に提出しています。信頼できる塗装店であれば、このように答えるはずだ。

※外壁塗り替えリフォームで失敗しないための自己防衛知識。※建物の状況・工事内容により色変えできない場合があります。

信頼できる塗装専門店を探し出すには

わが家を塗り替えるサービスや、第三者リフォーム工事保証仲裁制度などのサービスは、自分で無料で利用できる。(ただしリフォーム完了後には至難の業だ。そんな時に役立ててほしいのが、全国各地で12年以上もリフォーム会社の調査を行い続け、選抜されたリフォームの匠だけを消費者に紹介している「優良工事店ネットワーク」だ。

現在、優良工事店ネットワークが無料で配布している外壁塗装の参考書「赤本」は塗り替えのタイミング、塗料の選び方・工事金額の相場・契約前の確認事項など、塗装工事で失敗

外壁塗装は、通常3回塗りで行われる。まず塗料の密着をよくするための下塗り。次に家全体に仕上げ塗料を塗っていく(中塗り)。そして、さらにもう一度、同じ塗料を上から重ね塗りして完成となる(上塗り)。下塗りと中塗りは色が違うため問題ないが、心配なのは上塗りが、なぜなら、大半の業者が中塗りと同じ塗料を同じ色で塗ってしまった。部分的に中塗りのままが残り、塗り残しが出てしまったり、つまらぬ塗り残しがある。塗り残しがあると塗膜が早く劣化してしまい、次の塗り替え時期が早まってしまふ。大半の職人は「私がプロだから塗り残しなど出さな」と言うが、プロの熟練職人ほど、同じ色で塗ると塗り残

手抜き工事の予防する簡単な確実な方法

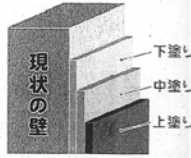
実は、塗り残しを無くす簡単な方法がある。中塗りと同じ色で塗るのではなく、最終的に真っ白に仕上げられるのである。中塗りの色を白に混ぜて薄く塗り、その上から真っ白に塗れば、塗り残し箇所は一目で分かる。公共工事ではこれに加えて工程毎に写真

Before

After

Before

After



真実を提出するよう義務付けられているが、一般住宅の塗り替えでも、きちんとした業者ほどこの作業を徹底して行っている。しかし、その作業を徹底しない業者も少なくない。また、大半の業者は色を変えて塗る工程の写真を残し箇所を嫌がる。どんなに小さな塗り残しも許されなくなるからだ。

しかし、この作業を面倒がるような業者が「中塗りと同じ色で塗ると塗り残しが出るので色を変えて塗る」という証として工程

信頼できる業者かどうかを見分けたい時は、「中塗りと同じ色で塗る」と聞いてみればよい。「そうです、ね」「中塗りと同じ色で塗ると塗り残しが出るので色を変えて塗る」と答える業者は信頼しない方がいいかもしれない。逆に「中塗りと同じ色で塗ると塗り残しが出るので色を変えて塗る」と答える業者は信頼できる業者ばかりだ。全国720社を超える参加工事店の登録料で運営されているため、消費者は近隣の優良工事店の紹介

手抜き工事の予防する簡単な確実な方法

実は、塗り残しを無くす簡単な方法がある。中塗りと同じ色で塗るのではなく、最終的に真っ白に仕上げられるのである。中塗りの色を白に混ぜて薄く塗り、その上から真っ白に塗れば、塗り残し箇所は一目で分かる。公共工事ではこれに加えて工程毎に写真

外壁塗替事例

●事例①

Before

After

●事例②

Before

After